とうきょう　すくわく

プログラム　活動報告書

園　名	もりのおがわ保育園
期　間	１月２回、２月２回、
実践者	新里早苗　（主任）
対象年齢人数	５歳１１名

テーマ　光

テーマを設定する

光テーブルを利用し、光の透明感、光の色を重ねた時の変化、光を融合した時の美しさを知る

環境をデザインする

〇準備物

光テーブル、イロイロモザイク、ミラーワールド、アクリルボックス小大

探求活動を実践する　光

〇活動内容

部屋を暗くし、光テーブルを配置。イロイロモザイク、懐中電灯、レゴ、そのほか、色がついた材料を準備。どんなものが光となって投影できるかを実験する。

光テーブルにはじめは多くの子どもたちが群がるが、発展が難しいようで、途中で飽きる様子が見られる。

その後、懐中電灯を持ち寄り、動く光に興味を持ち始める。天井や窓などに懐中電灯の光を照らし出す

振り返り・気づき

振り返り

光テーブル、イロイロモザイク、ミラーなど発展していくことが難しかった。こどもたちは、動きや変化を求めており、例えば、そこから、絵を描いてみるや、色を絵の具て作ってみるなどの、発展材料が必要だった。

また、水などは、形や色が子どもたちが手を加えることにより変化する様子が見られ、興味をもっていた

反省・次回への課題

子どもが好きなのは、「変化」であることがわかる。動きを伴い、変化を伴う活動につなげられるようにする